

第4次新潟市食育推進計画（方向性フロー案）

食をめぐる現状・課題

- 食への関心の低下
- 食品ロス
- 共食の機会の減少
- 健康寿命延伸
- 朝食の欠食
- 伝統的な料理や作法の伝承
- 食品の安全性
- 高齢者のフレイル

食に携わる現場や関係課の意見を集約、整理し、**重点課題の洗い出し**

特に20歳代の若い世代において課題が多い

<取り入れていきたい視点>

- エビデンスに基づいた規則正しい食と生活習慣
- 新しい生活様式への対応
- 共働き世代の増加
- 大学や企業、子ども食堂との連携

- *これらの課題を解決するため、まずは「楽しむ」ことを食への関心を持ってもらう入り口とする
- *施策の前提として「楽しい」がキーワード

指 標

項目をしばり「新潟市の食育」が
目指すべき姿を明確化
「食育」とは何かわかるように

施策のメインターゲット

切れ目のない食育の推進を目指し、
高校生から子育て中の20～30歳代

<基本目標>

楽しく食の大切さを知り、知識を得て
「えらぶ」「つくる」「たべる」「育てる」

<第4次計画の理念>

「食を楽しむ」ことを入り口に、楽しみながら食への関心を高めてもらう

伝わりやすいキーワード、スローガンを設定

【食育推進条例の目的】

- ①市民一人ひとりが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む
- ②いきいき暮らせる活力ある住みよいまち“新潟”の実現